

青木ヨットスクール沖縄ACCコース参加要領 2010/10/29

このたびは青木ヨットスクール ACC コースへの参加のお申し込みをいただき、ありがとうございました。

最小参加者数は3名となっておりますので、開催は当社ウェブサイトでご確認ください。

テキストブックは「インナーセーリング2」を使用します。個人装備をお持ちでない方は別紙 AOKI ヨットスクールおすすめ個人装備注文書でご注文ください。またトレーニングの成果を上げるため、テキストブックだけではなく「アナポリス式シーマンシップ」(ジョン・ルスマニア著)を予習していただくよう、おすすめします。

トレーニングの成果を上げるため、予習問題とテキストブックの該当箇所を必ず予習して、当日持参してください。卒業テストは80点が合格点です。実技テストは各項目が全て出来ることが求められます。

また当社ウェブサイトには、スクール受講の参考となるよう、会員ページを設けています。以下の氏名とパスワードを使用し、アクセスしてください。ユーザー名 school パスワード student1 (英文字全て小文字でスペースを空けない)

●注意事項

1. 一日目の航海食は、あらかじめご用意のうえ、各自で現地に集合してください。

宜野湾での宿泊予約は各自でお願いいたします。寄港先の民宿はスクールから一括して予約します。別紙の宿泊先一覧表をご参照ください。

2. 宿泊時は初日をのぞいて夕食と朝食がつきます。トレーニング中の昼食と飲み物などは各自が用意してください。現地で購入できます。酒類はお互いの安全のため、トレーニング時間中はご遠慮ください。食事代、交通費及び宿泊費用は各自現地で精算してください。

3. 船酔いの心配があるときは、実習の妨げとなるため確実な酔い止めを、乗艇の2時間前には服用してください。いかに船酔いしても休養できないときがあります。アネロン・ニスキャップは従来の酔い止めとは違い、非常によく効きます。大きな薬店で販売しています。

4. ヨットトレーニングは気象警報が発令されない限り、実施します。しかし危険が予想される場合は、プログラムを変更または中止することがあります。

5. プログラムの開始5分前には必ず集合してください。また終了時間は天候などの都合により変更することがありますので、以後の現地予定を入れないようお願いいたします。

6. トレーニング中はインストラクターの指示を守ってください。受講生の安全を守り、レベルアップを図るよう、インストラクターは常に考えています。プログラム開始時に安全確保のために、確認書のご説明を致します。

7. 教材のチャート(海図番号 W226)、海図図式(第 6011 号)をお持ちでない方は、各自で購入しておいてください。
(日本水路図誌(株)TEL...03-3541-1621 <http://www.jha.jp/kaizu/index.html>)

8. 不明な点は遠慮なく、おたずねください。それでは元気に参加されることを心からお待ちしています。

●持参品

少なくとも以下のセーリング・ギアを各自が用意してください。ギアを新たに購入するときは、スクールの基準を満たすギアを選択してください。当社ネットショップでは、スクール推奨の安全装備を販売しています。別紙の注文書から FAX でも注文できます。

ギアはすべてを一つのバッグに納めて、持参してください。旅行用ハードケースは、艇内へ収容できません。

小型船舶操縦免許証

健康保険被保険者証 又は 保険証コピー

インナーセーリング2(教科書)

予習教材、那覇港潮汐表、小型船用港湾案内、航海計画書、航海日誌・・・スクールより送付

チャート(海図番号 W226)

海図図式(第 6011 号)

筆記用具(電卓、鉛筆、消しゴム、平行定規もしくは三角定規、デバイダー)

ライフジャケット

セイフティライン

シーナイフ

デッキシューズ(滑りにくいスニーカーでもよい。ただし、デッキが汚れるので、靴底が黒色以外のもの。)

セーリンググローブ

帽子(飛ばないようにストラップをつけること)

ヨット用カッパ

懐中電灯(頭につけるヘッドランプが便利)

タオル、着替え、ヨットブーツ(夏季以外)、防寒服(夏季以外)、サングラス、水着、水中メガネなど

めがね着用の方はストラップを付けてください。

ログブック ASA OFFICIAL INTERNATIONAL LOG BOOK

A.C.C.トレーニングのスケジュール

1日目

1300 時 指定場所へ集合
自己紹介、確認書の説明と同意
トレーニングの説明と注意と質疑応答
第1レグの航海計画を各自が発表
航海計画の評価と決定
ワッチチームの編成
スキッパーによる出港前ブリーフィング
1700 時 現地を出港
8の字救助法実習
夜間ベアリングフィックス実習
夜間チャートプロットング実習
夜間セーリング実習

2日目

1100 時 目的港へ入港
アンカリング実習
艇の後片付け
陸上昼食
民宿へ移動
自由時間
第1レグの相互評価
第2レグの航海計画策定
1830 時 民宿で夕食

3日目

民宿で朝食
スキッパーによる出港前ブリーフィング
0600 時 現地を出港
ベアリングフィックス実習
チャートプロットング実習
セーリング海上実習
8の字救助法海上実習
1200 時 海上昼食
セーリング海上実習
目的港へ入港
アンカリング実習
艇の後片付け
自由時間
第2レグの相互評価
第3レグの航海計画策定
1830 時 民宿で夕食

4日目

スキッパーによる出港前ブリーフィング
0600 時 現地を出港
ベアリングフィックス実習
チャートプロットング実習
セーリング海上実習
1200 時 海上昼食
セーリング海上実習
1500 時 目的港へ入港
艇の後片付け
休憩
第3レグの相互評価
ACC 卒業テスト
卒業テストの評価と質疑応答
インターナショナル・ログブックの発行
インストラクターによるインフォメーション
1800 時 解散

A C C 沖 縄	
集合場所	宜野湾マリーナの管理事務所前
出港地	宜野湾マリーナ
2日目寄港予定地	粟国島
3日目寄港予定地	伊是名島
帰港地	宜野湾マリーナ

A.C.C.コース予習のご案内

©Aoki Yacht School 2010/10/29

以下の課題を海図、港湾案内とインナーセーリング 2 及びアナポリス式シーマンシップを参照し、仕上げておいて下さい。また先にお送りした参加要領をお読みいただき、必要な個人整備を、今一度お確かめください。参加要領は会員ページからもダウンロードできます。

1. 第一レグの航海計画書作成

海図上に鉛筆で作図し、航海計画書の各欄に値を記入しておくこと。必要な潮汐表と潮流表を参照しておくこと。航海速度は 4.0 ノットとする。

2. 位置決定問題・クロスベアリング法

ハンドベアリングコンパスによって、次の目標を測定した。現在位置を海図へ作図し、位置を下の欄へ記入せよ。

目標 1 残波岬灯台 FI(2) 10s 17M ----- 228°

目標 2 FI(2) R 6s & FI R 3s ----- 322°

目標 3 F FI G 3s 7/3M ----- 100°

現在位置 緯度 _____ 経度 _____

3. 位置決定問題・ランニング・フィックス法

宜野湾マリーナを出発してから、A点である 26° 20.0' N 127° 40.0' E の位置へ到達した。さらにマグネチックコース 000° 速度 4.0 ノットで続航した。2000 時に残波岬灯台を、ハンドベアリングコンパスで 30° に観測した。その後も同じコースと速度を保ち、2045 時に残波岬灯台を、ハンドベアリングコンパスで 60° に観測した。現在位置を求めよ。

現在位置は 緯度 _____ 経度 _____

その位置は FIX EP DR 位置のうちのどれか。

4. 灯台の灯質を自力で調べ記入せよ。

灯台	灯質記号	その意味
宜野湾港防波場灯台		
神山島灯台		
那覇港沖防波堤北端灯台		
残波岬灯台		
伊江島灯台		
伊江港中央灯浮標		
水納島灯台		
中ノ瀬灯標		
瀬底島灯台		
備瀬埼灯台		
第二岬灯台		
ハテ島灯台		
古宇利島灯台		